

＝ 市史編さん便り＝ 【56号】 令和5年12月18日(月)発行

*****土佐清水市教育委員会・市史編さん室

「第4回市史編さん講演会」を開催

－東近伸副編集委員長・山下晃弘執筆協力員－

12月16日(土)10時から12時まで、土佐清水市中央公民館3階・多目的ホールにて標記の「第4回市史編さん講演会(土佐清水市郷土史同好会主催・土佐清水市教育委員会共催)」を実施した。



↑ 講話する東近伸氏(上写真2枚)と山下晃弘(下写真2枚)

この講演会は、第1回目「市政史」(武藤清編集委員・6月17日)、第2回目「同和教育史」(浜岡篤編集委員・8月19日)、第3回目「学校教育史」(谷岡暁美編集委員9月16日)に続き、第4回目の講演会となる。

今回の講師は東近伸副編集委員長、山下晃弘執筆協力員のお二人で、それぞれ「戦国期の幡多荘と一条氏」(東近)、「『長宗我部地検帳』における以南の給地状況」(山下)とのテーマでご講演いただいた。研修会には郷土史同好会会員の皆様をはじめ、20名近い市民の皆様に熱心に聴講いただいた。やや専門的であり、

難しい内容ではあったが、講演終了後も熱心に質問が出され、中世・幡多荘や以南村の様相がより明らかとなり、充実した講演会となった。

◎『土佐史談 284号』の「表紙」「巻頭グラビア」に

土佐清水市指定文化財が掲載される！

11月15日発行の『土佐史談 284号』の「表紙」と「巻頭グラビア」に土佐清水市指定文化財が掲載・紹介された。

「表紙」には、土佐清水市定文化財「高野大師行状図画」（真念庵所有・土佐清水市中央公民館所蔵）が、東近伸文化財保護審議会長（土佐史談会理事）の説明で掲載。また、「巻頭グラビア」は、土佐清水市指定文化財の6基の「大正九年水害碑」が、唐岩淳子南国史談会副会長（土佐史談会会員・市史調査協力員）の作成した拓本とともに巻頭グラビアに掲載された。



↑『土佐史談 284号』表紙(左写真)、巻頭グラビアの一部(中写真)、東近伸氏による表紙の説明文。

◎『文芸はた第 15号』に「中浜万次郎生涯の概観Ⅲ」を執筆！

令和5年12月発行の『文芸はた第15号』（53～61頁）に「中浜万次郎生涯の概観」と題して、万次郎が米国やフランクリン号での捕鯨生活を中心にその歴史的な流れをまとめています。「市史編さん便り」の記事を基に加除修正を加えた内容となっております。四万十市の明屋書店、TSUTAYA、黒潮町入野のあかつき館で購入できます。頒価1,000円。